

授業名	地域教育活動論 [QT2]	学期	2021年度 春学期
担当者	出川 真也		
テーマ	地域づくりとイノベーション創出のための成人教育		
授業の目的	地域活性化を実現し、持続的な地域づくりを進めていくためには、それを担う地域人材育成が不可欠である。そのために地域課題を「学習課題」として把握し、地域資源（自然・文化・産業等）と既存の経験（伝統・生業・暗黙知等）を活かしながら、地域内外の多様な人々と協働して地域活性化を実現するための教育・人材育成の方策を検討していくことが重要である。本講座では「学習地域（LearningRegion）」「学習経済(LearningEconomy)」等の概念を踏まえながら、成人教育や社会教育・生涯学習等の考え方を軸に、多角的視点から地域づくり教育活動の推進方策について検討を行っていく。		
授業の到達目標・DPとの関連性	①成人教育の基礎理念・理論について説明できる（地域DP②） ②地域課題と学習課題の相互関連性について説明できる（地域DP①） ③地域づくりにおける成人教育の持つ役割や機能について、具体的事例を挙げて検討を行い、自分の意見を述べるができる（地域DP④） ④成人教育における学習コーディネーターの役割と機能について理解し、ワークショップ等において進行や運営を行うことができる（地域DP⑧） ⑤地域づくりのための組織・人材育成の大切さと難しさについて認識が深まっている（地域DP⑨）		
DP参照ページ	https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/		
授業形態	基本事項に関して講義するとともに、授業で取り上げる事例やテーマを題材にして、学生によるグループディスカッションとプレゼンテーションを行う。（マイクロソフトチームスも利用する予定です）		
テキスト	E.ハミルトン著,田中雅文他訳,2003,「成人教育は社会を変える」玉川大学出版部		
参考文献	池上惇,1983「地域づくりの教育論」 青木書店 山田定一、鈴木敏正編著,1992,「地域づくりと自己教育活動」 筑摩書房 杉万俊夫,2006,「コミュニティのグループ・ダイナミックス」 京都大学学術出版会 岩崎正弥,2010,「場の教育」 農文協 伊藤正昭,2011「新地域産業論－産業の地域化を求めて－」 学文社 山崎亮,2012,「コミュニティデザインの時代」 中公新書 Edwin Hamilton,1992 Adult Education for Community Development(Contributions to the Study of Education)		
評価方法	①テスト（基本事項に関する知識の定着）20%：上記到達目標①② ②平常点（授業内でのディスカッションへの寄与、発表など）40%：上記到達目標③④ ③レポート40%：上記到達目標⑤ 以上の評定合計点を元にした基準で全体の成績評価を行う。		
前提科目	-		
授業計画	（1）地域づくりにおける成人教育の役割と機能 【1回目】 ○事前学修 指定テキストの序論を読み基本的論点と疑問点を整理しておく（2時間） ○授業 ・オリエンテーション：授業の進め方、履修上の注意事項を説明 アクティブラーニングの導入とグループディスカッションやプレゼンテーション等の学生相互の協働的实践について、成人教育の観点を踏まえながら説明して、学生の授業への主体的参加を促す。 ・講義：「地域づくりにおける成人教育の役割と機能」 地域創生学部における本授業の趣旨と位置付けを説明するとともに、地域づくりにおける成人教育の役割と機能について概説する。 ・ディスカッション： 学生のこれまでの地域づくり体験から、講義内容を踏まえて、特徴と課題を抽出して、議論を深める。 ○事後学修 事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間） 【2回目】 ○事前学修 成人教育の国内・海外事例について情報収集を行う（ユネスコ、OECD、ESDなどの関連サイトを紹介する）（2時間） ○授業		

・講義：「地域づくり成人教育活動の事例」

Highlander Research and Education Centerなどの海外事例や国内の地域づくり成人教育実践活動事例を紹介・解説する。

・ディスカッション：

学生が事前学習で集めた事例情報を報告。講義内容を踏まえながら、その特徴と課題について議論を深める。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

※地域づくりの成人教育に関するレポートを作成しt-po提出する（2時間）

（2）地域に根ざした教育

【3回目】

○事前学修

フォーマル、インフォーマル、ノンフォーマル教育のそれぞれの意味について、テキストや参考文献を読み整理しておく（2時間）

○授業

・講義：「ノンフォーマル教育と地域に根ざした教育」

フォーマル、インフォーマル、ノンフォーマル教育それぞれについて概説し、地域に根ざした教育の特徴と課題について解説する。

・ディスカッション：

フォーマル、インフォーマル、ノンフォーマルそれぞれの教育類型の特徴を踏まえて、地域に根ざした教育や地域づくりの展開可能性について議論を深める。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

【4回目】

○事前学修

成人学習の手法や方法に関する実践事例情報を収集する（2時間）

○授業

・講義：「成人学習の方法－個人学習・集合学習・ネットワーク型学習－」

地域づくり活動をめぐる定義と活動タイプごとに現れる学習方法の特質について解説する。

・ディスカッション：

事前学習で収集した事例を、講義内容を踏まえて整理し、タイプ別に学習方法の特徴と課題について議論を深める。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

地域に根ざした教育に関するレポートを作成しt-po提出する（2時間）

（3）住民参加の地域づくり

【5回目】

○事前学修

住民参加の地域づくりについての国内・海外事例情報を収集する（2時間）

○授業

・講義：「住民参加の地域づくりと学習活動」

地域社会の概念と地域づくりについて基本解説を行うとともに、住民参加の地域づくりを対象とした研究調査の動向と課題、展望について概説する。

・ディスカッション：

事前学習で収集した事例を踏まえながら、住民参加の地域づくりと行政や研究・教育機関、民間団体等の役割や連携方法について議論を深める。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

【6回目】

○事前学修

地域学習活動を担う人材の情報を収集する（2時間）

○授業

・講義：「地域づくり学習活動の支援者」

地域づくりにおけるリーダー、コーディネーター、組織等の役割について説明し、成人教育プログラム運営におけるそれぞれの機能について解説する。

・ディスカッション：

グループ別に地域課題テーマを与えて、学生がリーダー、コーディネーター、一般住民といった役割分担をして、課題解決に向けた地域づくり学習活動の展開プロセスを疑似体験し、結果を発表する。

※なお、第5回または6回のいずれかでゲスト講師を招き事例提供をいただく予定である。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）
住民参加の地域づくりに関するレポートを作成しt-po提出する（2時間）

（4）地域社会のニーズと学習課題の設定

【7回目】

○事前学修

地域づくりの課題としてどのようなものがあるか事例情報を収集する（2時間）

○授業

・講義：「地域ニーズと学習活動」

地域づくり活動に関連する「ニーズ」の典型的整理と特徴、課題について解説する。地域社会ニーズとして、「真のニーズ」「実感ニーズ」「症候的ニーズ」、学習ニーズの4側面として「学習者自身のニーズ」「教師のニーズ」「組織スタッフのニーズ」「活動に内在するニーズ」を取り上げ、学習活動にどのように影響するか解説する。

・ディスカッション：

ニーズ類型ごとにどのような地域づくりが想定されるか、またその際必要な地域学習活動としてどのような方策が考えられるか、議論を深める。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

【8回目】

○事前学修

授業で提示される学習課題と学習者の特性に関する文献を読み論点・疑問点の整理を行う（2時間）

○授業

・講義：「ニーズの把握と学習課題の設定」

ニーズの把握手法と学習課題の設定方法について概説する。

・ディスカッション：

授業で示されたニーズと学習課題の把握手法や手順を踏まえて、グループごとに地域課題テーマを想定し、それぞれに対応してどのような教育プログラムが想定されるか、議論し、結果を発表する。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

地域社会のニーズと学修課題の設定に関するレポートを作成しt-po提出する（2時間）

（5）地域づくりのための組織作り

【9回目】

○事前学修

地域づくり学習団体の情報を収集し、その特徴と課題について論点整理を行う（2時間）

○授業

・講義：「活動を担う組織の段階的自立と学習プロセス」

地域づくり学習団体の組織化と活動の展開プロセスについて、ハミルトンの「段階的自立法」の考え方を紹介すると共に、実践現場で運用する際の課題について解説する。

・ディスカッション：

地域づくりにおける各種組織の持つ特徴と課題に留意しながら、事業遂行能力の高い組織を育成するためにはどうしたらよいか、議論を深める。

○事後学習

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

【10回目】

○事前学修

市民参加型の行政施策・事業としてどのようなものがあるか事例情報を収集する（2時間）

○授業

・講義：「学習活動におけるオーガナイザーの機能と市民・行政の役割」

地域づくりおよび成人教育におけるオーガナイザーの機能と市民と行政の役割について概説する。

・ディスカッション：

市民参加の組織作りや行政連携の特徴と課題について議論を深める。

○事後学修

事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）

地域づくりのための組織作りに関するレポートを作成しt-po提出する（2時間）

（6）地域づくりの視点と方法

【11回目】

○事前学修

全国の地域づくり情報から、学習活動にかかわる先導的事例情報を集め整理する（2時間）

	<p>○授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：「地域づくり学習を促進するためのモデルの活用」 <p>地域づくりモデルや計画と成人教育のかかわりについて説明し、事例やモデルを活かした学習活動の促進方策の基本的考え方について概説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション： 「モデル」「先進事例」を参考にする際の留意点及び活用方法について議論を深める。 <p>○事後学修</p> <p>事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）</p> <p>【12回目】</p> <p>○事前学修</p> <p>授業で提示する参加型研究方法についての参考文献を読み、論点・疑問点をまとめておく（2時間）</p> <p>○授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：「協同的实践としての地域づくり学習」 <p>地域づくりのための成人教育を促進していくための方策として、参加型研究の手法について概説する。参与観察、（参加型）アクションリサーチ、協同的实践等の研究手法を取り上げ、グループ・ダイナミックスの考え方にも触れながら解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション： 研究・成人教育・地域づくり実践との相互関係について課題と展望を議論する。特に成人教育者・研究者が現場に関与することの現代的・社会的意味について、本学の社会・地域連携事例を題材にしながら議論を深めていく。 （本学地域構想研究所や社会・地域連携担当職員をゲスト講師として招聘） <p>○事後学修</p> <p>事前学習情報に授業内容を加え論点整理する（1時間）</p> <p>地域づくりの視点と方法に関するレポートを作成しt-po提出する（2時間）</p> <p>【13回目】</p> <p>○事前学修</p> <p>これまでの授業内容を取りまとめ、疑問点等について整理する（2時間）</p> <p>○授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：「地域づくりのための成人教育」 <p>これまでの授業を振り返り、地域を育成する成人教育活動の構成要件や手法について補則。これまでの課題レポートにおける学生からの疑問点等に対しフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験を実施する。 <p>○事後学修</p> <p>事前学習情報に授業内容を加え論点整理するとともに試験結果を振り返る（1時間）</p>
<p>統括的な留意事項</p>	<p>学んだ知識を地域実践の現場でいかせるものとしていくためには、単元ごとに自ら課題意識を持って情報収集を行うなどの学修活動を行い、授業でのディスカッションを通じて、自らの考え方を表現したり、授業内容を踏まえて論理的整理を行うなどの取組みが大切です。本授業では講義による基本時効の解説のほか、ディスカッションやプレゼンテーションなどを導入して、知識を応用していくことに主眼を置いた授業運営を行います。具体的な学習方法等の疑問点については、オフィスアワーを有効に利用して相談してください。</p>